

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.5 2002年10月30日

第三回地域職能組織代表者会議の報告

千葉県言語聴覚士会会長 村西 幸代

2002 年 10 月 20 日東京都港区の島嶼会館において、第三回地域職能組織代表者会議が行われました。出席者として、地域職能組織代表者 28 名の他、日本言語聴覚士協会（以下 RST 協会）より地方組織委員会 4 名、会長副会長 3 名、オブザーバー理事 5 名、評議員 7 名、記録者 3 名が参加致しました。

会議の内容と致しましては、まず地方組織委員会の久保田功委員長より「地域組織具体化作業の経過説明」が行われ、次いで清水充子副委員長より先日行われました「地域組織具体化に関するアンケート」の結果が報告されました。アンケートについては、現在既存の地域職能組織 33 県のうち 31 県より回収された事が報告され、各県とも興味の高さがうかがわれました。さらに内容では、皆様にもご協力願いましたアンケートの項目に沿ってそれぞれの回答傾向の説明がなされました。各地域職能組織からのアンケート回答傾向は、先日千葉県士会でも皆様にご報告させて頂きましたアンケートの結果とほぼ等しい回答傾向である事を確認致しました。

RST 協会は今回得られた「地域組織具体化に関するアンケート」の結果をふまえ、以下にお示し致します「地域組織のあり方について（案）」を提出し

て参りました。参加した地域職能組織の代表者の反応は様々で 独自の規約、独立会計で内部組織といえるのか 現状でも RST 協会と連携は保たれているが、内部組織として地域職能組織を位置づける必要があるのか RST 協会と士会で、どの位の会員構成のズレを認めるのか 経過措置は期限があるのか 順次内部組織となった場合、経過措置期間の外部組織と処遇が異なるのか といった質問が挙げられました。現在、RST 協会として具体的回答はなく、今後理事会等で話し合わせ、さらに地域組織のあり方について検討を進めていく方針が報告されました。

千葉県士会と致しましても、RST 協会の提案に対し、具体的な方針を検討していかなくてはなりません。地域組織検討委員会より、皆様のご意見をうかがうべきアンケート等が再度行われることと思います。

繰り返しになりますが、全国の職能組織である RST 協会とどのように連携を取るかは今後千葉県士会及び言語聴覚士一人一人にとって、とても重要な問題です。どうか、積極的に皆様のお考えが寄せられますよう、御協力の程お願い申し上げます。

地域組織のあり方について（案）

1. 本協会の地域組織を検討する基本方針
将来のあり方（将来像）とそこに至るまでの期間の

対応(経過措置)について分けて考えることにする。

2. 将来像について

- 1) 各都道府県に本協会の一つの地域士会(仮称)を置く

地域士会(仮称)は独自の規約をもつ(本協会の規約に記載されている目的に矛盾しない範囲で)

地域士会(仮称)の会計は独立会計とする。

本協会は地域士会(仮称)の活動費の一部を補助する

正会員の構成については、本協会と地域士会(仮称)の一体化を目指す

地域士会(仮称)は地域に根差した活動を行い、全国規模で本協会が取り組む活動を協力して行う。

- 2) 本協会に地域士会(仮称)の意見を反映させる機関を設ける

3. 経過措置について

- 1) 本協会に地域士会(仮称)を置くことができる

- 2) 地域士会(仮称)について

言語聴覚士が正会員である

役員は本協会会員であることが望ましい

新入会員については、本協会と地域士会(仮称)両組織に属するよう働きかける

その地域の言語聴覚士の多数が参加している地域士会(仮称)の会員の多数が本協会の会員である

地域士会(仮称)になった際の具体的変化

・研修会・広報活動などを本協会と連携して行

うことができ、人的および一部経済的支援を受けることができる

- ・本協会から会員情報を受けられる
- ・日本言語聴覚士協会 地域士会(仮称)と称し、本協会との関係を明確にすることができる

- 3) 今後も、地域職能組織代表者会議は継続して設け、意見交換に努める。本協会は本会議開催に関する経済的保証をする。

平成 14 年度第 3 回研修会のお知らせ

日時：平成 14 年 11 月 30 日(土)

13 時～16 時 30 分

場所：千葉大学附属病院 3 階 第 3 講堂

【症例検討会】13:00～15:15

言語発達遅滞の症例を 2 名の会員に提案していただき、言語評価と訓練方針について検討します。

【情報交換会】15:30～16:30(会員・会友のみ)

*詳しくは別紙をご参照ください

「会員の方からの投稿」

ST 職域拡大情報ゲット

「こどもの発達支援を考える ST の会」初会合

レポーター 鈴木 三樹子

10 月 12 日(土) ところは池袋駅西口に堂々とそびえる東京都芸術劇場。当会は本年 4 月に発足し、パソコンを使った情報交換(メーリングリスト)を中心に、会員間で素朴な日々の臨床方法に関する疑問から始まり、システムのこと、参考図書や研修会の紹介などが行われてきた。

「STに求められること・できること」が初会合のテーマ。当事務局のリサーチによると長崎や秋田・岩手・徳山・滋賀からの参加もあり約90名（過半数の会員の他、ST学生や教員・養護教諭・保護者・出版関係）が、「地域」や「生活」と結んだSTの活動の実践に耳を傾けた。

当会の主宰者であり、自称「STが池」の管理人である中川信子氏から「発達を能力面での一直線の進歩ではなく、土に生まれ、土に還るまでの経過全てとして捉える」という提言があった。引き続き5人の会員から、既存のSTの職域と職域の隙間産業的な位置で、道を切り拓いていてきた話題提供があり、参加者との熱い討論などもなされた。

参加した保護者の「学齢になってからの個別のSTによる公的なサービスはなかった。できるのを待っているわけにはいけないから、自主訓練会を作りそこにSTを呼んだ」という調布市在住の実践は「ワゴン車に教材満載---親のニーズに応じてSTの出前活動」の原動力となった。「大津市ことばの教室」（自治体運営で幼児・養護学校も含む障害児学級在籍の小学生、中学生なども利用可）も保護者の運動による開設の経緯があった。その他、民間療育グループの活動や乳幼児健診後フォローの二段階システムの展開は親子支援のスタートの重要性を示唆していた。耳を疑った（？）情報では全国の「ことばの教室」の教員の内3年未満の経験年数の人は過半数で「専門性に自信がない」という切実な思いをもっているとか。

今後財政のスリム化で、既存のサービスのスタイ

ルの見直しがせまれる事はどの領域においても必至である。サービスを必要とする人が求めているものへ、STの専門性をどう活かすか？それは新たな仕事を産み出し職域拡大に繋がるだろう。今までに出逢った事のないSTに出逢うチャンス。素朴な質問・疑問、時には根源的な問いも発せられる。その他情報も満載。詳しくはホームページをクリック！

「子どもの発達支援を考える会」ホームページ

<http://www.escor.co.jp/gr/kodomost/>

平成14年度第2回研修会報告



平成14年9月28日（日）千葉大学医学部附属病院第3講堂において、千葉労災病院リハビリテーション科 言語聴覚士 安田清先生をお迎えし、「記憶障害の臨床像と対処法 症例を通して」をテーマとした研修会を開催しました。内容は記憶の種類や検査法についての基礎的なお話の後、記憶障害への対処法について一般的な方法や先生の考案された機器を用いた方法等、様々な具体的な支援法が紹介されました。また実際に記憶障害のある方が支援機器等をどのように使用している

か、VTR を通して具体的なイメージを持つことが出来ました。

参加者は会員 32 名、会友 4 名、会員外 29 名（うち学生 16 名）合計 65 名でした。当日行ったアンケートは 29 名の方にご提出いただき、「とてもよかった」が 26 名でした。以下に会員の感想を一部ご紹介します。

< アンケート結果 研修会の感想より >

- ・ 高齢者の記憶障害・痴呆症状の強い患者様に対してのリハビリテーションではなかなか ADL に結びつかないと感じていましたが、今回の講義を聞いて直接 ADL にアプローチできる方法だと感じました。
- ・ 工学的物品を利用した治療は、新鮮で興味深かった。臨床 1 年目で記憶障害が重度の方を受け持つことが多く、どのような介入をすべきか悩んでいたが、今回の講義を生かし工夫してみたい。
- ・ 理論ばかりならべる先生と異なり、実際の現場での体験や実践した方法を知ることが出来た。参加した甲斐が大いにあった。
- ・ 教科書に載っていないことを教えてくれた。また話がわかりやすくとても良かった。
- ・ IC レコーダは価格の問題や周りの協力が得られないと購入が難しいと感じた。現在勤務している病院では、入院している患者さんを多く担当しているため使用できるかどうか不安を感じた。
- ・ 日々の臨床に役立つ情報を教えていただき、ありがとうございました。こういう支援もあったのか

と、目からウロコでした。何か良い方法はないのかと常に考える姿勢の大切さを学びました。

* 支援費制度について：講演終了後社会局 竹中啓介氏より支援費制度について仕組みやサービス利用の手続きについて説明していただきました。会員からは「大変わかりやすく参考になりました」という感想が寄せられました。

* 情報交換会について：2 グループに分かれ自己紹介の後、講演のテーマであった記憶障害のある方への対応等について話し合いました。安田先生も加わっていただき有意義な情報交換が出来ました。会員からは「情報交換会も 2 度目になりだんだん県士会の方々と“顔の見える関係”になってきたことを嬉しく思います。」という意見をいただきました。

アンケートのご協力ありがとうございました。今後の研修会のテーマについても摂食・嚥下障害、高次脳機能障害、失語症のメカニズム、老人保健施設における ST の役割、症例検討会等の希望が寄せられました。今後の参考にさせていただきます。今回、会員外の方や学生の方が多く参加してくださり研修会は盛況でした。しかし前回と同様、会員の方の参加が少ないという状況がとても残念です。次回の研修会は症例検討会（小児）ですので、ぜひご参加ください。（学術局）

職場紹介

アルファ ことば発達クリニック

S T・心理 柴田 節子

インリアル・アプローチを基礎に、子どものもっている力を最大限に引き出し、ゆたかなことばとこころを育てていきたいと考えています。

対象 ことばにつまずきのある幼児・児童・成人
(失語症と聴力障害は除く)とその保護者

所在地 〒278-0055 野田市岩名 2-6-16

TEL/FAX 04-7120-8088

交通 東武野田線 川間駅 南口
徒歩 5 分

指導時間 1 時間～ 1 時間半

指導料・頻度 相談に応じます。

特徴

1. プレイセラピー中心で、コミュニケーションやその成立を重視しています。
2. 自分で考え、判断し、行動し、さらに行動修正できるような子どもや人を育てたいと考えています。
3. 保護者面接も重視しています。
4. 睡眠、食事、遊びなどの日常生活への支援もします。
5. 必要に応じて、幼稚園、学校、施設等の訪問もします。
6. 学習会を定期的に行っています。

付記

現在、諸事情により新規ケースは受け付けておりません。ご相談程度なら応じます。

地域組織検討委員会よりお知らせ

平成14年5月18日の日本言語聴覚士協会（以下、RST協会）第3回総会の第6号議案「地域職能組織に関する基本方針」が採択されました。これに対して千葉県言語聴覚士会（以下、千葉県士会）では、広く会員の意見を求め、当県士会とRST協会との連携のあり方を検討することを目的に地域組織検討委員会（委員長 村木俊史）が設置されました。委員は全員で8名、県士会理事会の推薦で選出されました。9月15日に第1回目の委員会が開かれ、現在まで計3回の委員会を開催しております。理事会からもオブザーバーとして会長の村西氏、理事の根本氏が参加しています。

当委員会では3回の会議の中で、10月に開催されるRST協会「第3回地域職能組織代表者会議」に向け、会員構成、事業、会費、地域組織の意見の反映方法という具体的な項目について検討しました。方法は千葉県士会会員を対象に実施した2回のアンケート結果を基に協議しました。

協議結果は以下の通りです。 会員構成：県士会としてはRST協会入会の意義を会員に伝え、積極的に協会への入会を勧めていくべきである。 地域組織の意見の反映方法：現時点では協会内に諮問機関を作る事を検討してもらい地域組織の意見を積極的に取り入れてもらえるよう働きかける。そして将来的にはより直接的に協会に意見を反映できる仕組みを

検討してほしい。事業：厚生労働省への働きかけなど全国レベルで行った方が効率の良い事業はRST協会で行い、地域での研修会など会員の質の向上に関する事業に関しては地域組織で行うべき。会費：現時点では別納とすべき。以上を千葉県士会理事会へ当委員会の意見として報告しました。

今後、当委員会では研修会、県士会ニュースやホームページ、メールマガジンなどを通じて随時情報をお知らせしていく予定です。また会員のみなさんからのご意見をメール、FAXにて受け付けております。

すでに会長からの報告でもありますように、第3回地域職能組織代表者会議が開催されました。その結果を受けて当委員会もアンケートを実施いたします（別紙）。みなさまのご協力をお願い申し上げます。この結果は、11月30日（土）の「症例検討会」において、委員会よりご報告すると同時に、ニュースなどでもお知らせしていく予定です。

地域組織検討委員会

e-mail : CRST-LO-owner@egroups.co.jp

FAX : 020-4666-7836

学術局から

1. 研修会ビデオの貸し出し

これまでにに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。希望者は下記の要領でお申し込みください。

貸し出し期間：1ヶ月

方法：返信用封筒（B5 または A4 サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円、2本390円）を貼って送ってください。

あて先：〒261-0003 千葉市美浜区高浜4-8-3

千葉市療育センター やまびこルーム 高橋典子

TEL 043-279-1141 FAX 043-277-0220

貸し出しビデオ：

1 「STがおこなう高次脳機能障害の臨床」

講師 鈴木 勉先生 東京都立墨東病院

リハビリテーション科言語聴覚士

2 「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」

講師 長澤 泰子先生 日本橋学館大学

3 「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」

講師 矢守麻奈先生 都立駒込病院

4 「重複障害児のAAC - 日常生活とST訓練を結ぶ」

講師 知念洋美先生 千葉リハビリテーションセンター

5 「記憶障害の臨床像と対処法 - 症例を通して - 」

講師 安田清先生 千葉労災病院

ビデオの貸し出しについて

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。

ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。

ビデオテープの代金を弁償していただきます。

社会局から

1. 千葉県内の言語聴覚療法、の施設について

千葉県内において、言語聴覚療法、の施設基準を算定された施設数は、9月1日現在で、言語聴覚療法の施設は9施設、言語聴覚療法の施設は48施設となっています。

2. 本会HPをご覧ください

URL) <http://users.hoops.ne.jp/crst2002/>

なお、ホームページの中には会員専用ページがあ

りますが、アクセスには下記のパスワードが必要となりますので予めご了承ください。また、このページは Java スクリプトを使用しておりますので、Java の設定を意図的に解除している場合はアクセスできませんのでご注意ください。

パスワード：affordance (半角英数で入力)

事務局から

1. メールマガジン発行について

メールマガジンは本ニュースを補完するものや、求人情報など速報性の高いものが中心となります。会員のみなさんのご意見やご希望をお待ちしております。「千葉県言語聴覚士会メールマガジン」配信登録・停止 URL)

<http://www.egroups.co.jp/group/CRST-MG>

問い合わせ：CRST-MG-owner@egroups.co.jp

2. 平成 14 年度会費の納入方法について

平成 14 年度の会費の納入期限は平成 14 年 3 月末日となっております。会員の皆さまへ既に送付いたしました振込用紙に必要事項を明記の上、下記へお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

会員 入会金：1,000 円

年会費：3,000 円

会友 入会金：なし

年会費：2,000 円

振込手数料は自己負担となります。振込用紙にて領収書に替えさせていただきます。

振込先

郵便振込 00120-6-39932

口座名義：千葉県言語聴覚士会

会費の問い合わせ先

財務部 和泉澤 光子

和田町立和田小学校

299-2703 千葉県安房郡和田町仁我浦 8-1

TEL：(0470) 47-2064 FAX：(0470) 47-2790

3. 入会のお誘い

平成 14 年 10 月 15 日現在、千葉県言語聴覚士会の会員は 149 名、会友 11 名です。まだ未加入の方も多数いらっしゃると思います。みなさんのご入会をお待ちしております。もしお知り合いの方が未加入の場合はぜひお勧めください。また資格を持っていらっしゃる方も言語聴覚療法に興味ある方であれば会友として入会が可能です。

入会の問い合わせ先

事務局 田辺 佳子

千葉市療育センター療育相談所

261-0003 千葉県千葉市美浜区高浜 4-8-3

電話：(043) 279-1141 FAX：(043) 277-0220

現在の会員数：会員 149 名 会友：11 名

平成 14 年 10 月 15 日現在

4. 入会申込み事項の変更届けについて

勤務先、住所など入会申し込み書の記載事項に変更がありましたら、入会問い合わせ先と同じ田

辺宛まで FAX または郵送でお知らせください。

理事会の報告

平成 14 年度第 8 回 理事会

日時：2002 年 5 月 30 日(木) 19 時 46 分～23 時 15 分

場所：千葉大学医学部附属病院 第二会議室

出席者：和泉澤、神作、高橋、竹中、田辺、竝木、根本、村西(以上理事 8 名) 篠塚(監事) 田中(書記)

. 報告事項

(1) 会長より

- 1) 第 2 回千葉県言語聴覚士会総会について
- 2) 特別報告「日本言語聴覚士協会地域職能団体代表者会議の報告 日本言語聴覚士協会と本会の連携のあり方について 」について

(2) 事務局より

第2回県士会総会の出欠票兼委任状の回収状況について

(3) 社会局より

- 1) 特別報告「診療報酬改定に関する報告」の資料について
- 2) 特別報告「千葉県内における言語聴覚士の業務に関する実態調査の報告」の発表原稿(案)及び資料(案)について

. 協議事項

(1) 会長より

- 1) 第 2 回県士会総会について
- 2) 特別報告について

平成 14 年度第 9 回 理事会

日時：2002 年 7 月 4 日(木) 19 時 35 分～22 時 05 分

場所：千葉大学医学部附属病院 第二会議室

出席者：神作、高橋、竹中、田辺、竝木、根本、村西(以上理事 7 名) 篠塚(監事) 田中(書記)

. 報告事項

(1) 会長より

- 1) 地域職能組織ワーキンググループについて
- 2) 第 2 回地域職能組織代表者会議の議事録の報告
- 3) 当県士会第 2 回総会議事録の提出
- 4) 第 10 回記念日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会の報告

(2) 学術局より

第 1 回研修会の申込状況の報告

(3) 社会局渉外部より

県庁訪問(地域リハビリテーション協議会への参入)の報告

(4) 事務局より

日本言語聴覚士協会と本会の連携に関するアンケートについて

. 協議事項

(1) 会長より

- 1) 日本言語聴覚士協会と本会の連携を検討する委員会について
- 2) 選挙管理委員会について

(2) 学術局より

第 1 回研修会について

(3) 事務局より

県士会ニュースについて

平成 14 年度第 10 回 理事会

日時：2002 年 7 月 25 日(木) 19 時 32 分～23 時 10 分

場所：千葉大学医学部附属病院 第 2 会議室

出席者：村西、神作、高橋、竹中、田辺、竝木、根本(以上理事 7 名) 篠塚(監事) 田中(書記)

・報告事項

(1)会長より

1) 日本言語聴覚士協会（以下 RST 協会）と本会との関係について

2) 第 2 回千葉県域失語症者のつどいについて

(2)学術局より

1) 第 1 回研修会について

2) 第 2 回研修会について

3) 症例検討会について

・協議事項

(1)会長より

1) RST 協会と本会との関係について

RST 協会と本会との関係を協議する委員会の立ち上げについて

RST 協会からのアンケートへの対応について

「RST 協会と本会の連携に関するアンケート」

集計結果の会員に送付について

3) 県士会の休会制度について

4) 第 2 回千葉県域失語症者のつどいについて

5) 他県地域職能組織へのニュース送付について

6) 患者個人からの相談の電話への対応について

7) 会員からの訪問リハビリ依頼の件について

8) 次回からの理事会開催場所について

(2)学術局より

1) 第 2 回研修会お知らせについて

平成 14 年度第 11 回 理事会

日時：2002 年 8 月 28 日(木) 19 時 45 分～22 時 30 分

場所：千葉リハビリテーションセンター・1F 言語室

出席者：村西、神作、高橋、田辺、和泉澤、竝木、根本(以上理事 7 名) 篠塚(監事) 藤倉(書記)

・報告事項

(1)会長より

1) 市原市職員採用試験の案内について

2) 厚生労働省「言語聴覚士の受験資格について」一部改正の資料について

3) 日本言語聴覚士協会の入会申込書について

4) 賛助会員の富士食品の食品展示会開催について

5) 県士会の会友入会について

診療報酬改定に伴う記録の記載方法などに関する情報収集の講演会について

6) 「地域組織具体化に関するアンケート」について。

7) 子どもの発達支援を考える ST の会が開催するシンポジウムについて

(2)事務局より

1) 地域組織検討委員会及び選挙管理委員会の名簿提出。

2) 「地域組織具体化に関するアンケート」はについて

(3) 学術局より

症例提案を募集について

・協議事項

(1) 地域組織検討委員会について

- 1) 地域組織検討委員会の委員について
- 2) 第一回地域組織検討委員会の開催日時について
- 3) 地域組織検討委員会の活動方針について
- 4) 地域組織検討委員会に参加する、委員外のメンバーについて

(2) 地域組織具体化に関するアンケートについて

- 1) RST 協会から送付された「地域組織具体化に関するアンケート」について
- 2) アンケートの各質問について

(3) 子どもの発達支援を考える ST の会のシンポジウムについて

(4) 第 3 回研修会の症例提案募集について

地域組織検討委員会の報告

平成 14 年度第 1 回 理事会

日 時: 平成 14 年 9 月 15 日(土) 12:07 ~ 15:22

場 所 千葉大学医学部附属病院 第 2 会議室

出席者: 村西幸代、岡松恵子、倉持裕子、鈴木美樹子、村木俊史(以上委員 4 名) 根本達也(以上理事 2 名) 田中智子(書記)

・報告事項

- (1) 委員会の設立経緯について
- (2) 委員会への理事

(3) 千葉県言語聴覚士会(以下千葉県士会)におけるアンケート結果について

(4) アンケートへの千葉県士会の回答について

・協議事項

(1) 委員長選出について

(2) 今後の方針について

(3) 連絡方法について

(4) 次回の委員会について

求人情報

施設名: みつわ台総合病院 リハビリテーション科

所在地: 千葉市若葉区若松町 531 - 486

職種・人数: 常勤、言語聴覚士 1 人

受験資格: 言語聴覚士資格をお持ちの方で、28 歳以下、3 年以内の経験者

申し込み: 平成 14 年 11 月 15 日まで

連絡先: みつわ台総合病院 リハビリテーション科
PT 井田 043 - 252 - 9777

編集後記

秋だぁーと思っていると気がつけばもう 11 月、最近は少し肌寒くなってしまいました。今年もあと 2 ヶ月しかないとは…。はやい、はやい。原稿依頼の不手際から、今回(いつも?)は編集作業が遅々として進まず関係各所には大変ご迷惑をおかけしました。今後ともよろしくお願いいたします。

(編集部)